



2017 J2 ■順位表■開幕前

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

名古屋	--p	**	**	**	
湘南	--p	**	**	**	
福岡	--p	**	**	**	
松本	--p	**	**	**	
京都	--p	**	**	**	
岡山	--p	**	**	**	
町田	--p	**	**	**	
横浜FC	--p	**	**	**	
徳島	--p	**	**	**	
愛媛	--p	**	**	**	
千葉	--p	**	**	**	
山口	--p	**	**	**	
水戸	--p	**	**	**	
山形	--p	**	**	**	
長崎	--p	**	**	**	
熊本	--p	**	**	**	
群馬	--p	**	**	**	
東京V	--p	**	**	**	
讃岐	--p	**	**	**	
岐阜	--p	**	**	**	---
金沢	--p	**	**	**	
大分	--p	**	**	**	

today's guest : レノファ山口

2016 J2 14勝11分17敗 勝ち点53:12位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2016/09/25 J2-33節@維新公園	FC岐阜	レノファ山口
岐阜 3-2 山口 レオミネイロ, 阿部正紀, エヴァンドロ scored.	2016/11/20 J2-42節@長良川 岐阜 4-2 東京V	2016/11/20 J2-42節@Kスタ 水戸 0-2 山口
	2016/11/12 J2-41節@うまスタ 熊本 1-0 岐阜	2016/11/12 J2-41節@維新公園 山口 2-2 山形
	2016/11/06 J2-40節@長良川 岐阜 2-0 横浜FC	2016/11/06 J2-40節@正田スタ 群馬 2-0 山口

●今年もいよいよJ2リーグが始まる。昨年の我がFC岐阜は、残念ながら再び20位に終わった。シーズン終盤に最下位に転落したが、そこから驚異のホーム3連勝を挙げて劇的なJ2残留を勝ち取ったことは、未だに鮮明な良い記憶だが、しかし誉められた成績でないことも事実だ。今年も、2008年にJリーグに参入して10年目となるシーズン。フロントは大きな節目の1年と位置づけて、大木武監督を招聘。甲府や京都での監督経験があり、日本代表では岡田監督の下でコーチも務めた、実績充分の指導者だ。またヘッドコーチにも昨季は徳島の監督を務めた長島裕明氏を招き、コーチングスタッフの強化を図っている。大木監督の目指すサッカーは、コンパクトな守備でボールを奪い、全員が流動的に動きながらショートパスを繋いで攻めるスタイルだと思われるが、これを実現するために、退団15名・新加入13名と大幅に選手を入れ替え、かつ多くが20代前半という、思い切った若返りを図るチーム編成を行った。キャンプもはじめて2箇所で開催するなど、まさに“新生”のための準備をすすめてきたFC岐阜。サポーターとしては“今年こそは”という期待が膨らむが、一方で今年のJ2も混戦は必至だろう。全22チーム中、11チームがJ1経験チーム。しかも今年はJ3との入れ替え戦が無くなり、下位2チームがJ3自動降格になる厳しいシーズンだ。昨季20位だった岐阜は、残念ながら“残留争い”筆頭候補・常に自分たちは挑戦者だという自覚をもち、着実に1試合ずつ、目の前の試合で勝ち点を積み上げてゆくことが求められるだろう。

さて、3年ぶりとなるホームでのシーズン開幕戦の対戦相手は、レノファ山口だ。昨季はJ2昇格1年目にして攻撃的なパスサッカーで躍進を遂げ、最終順位は12位。今オフには大量の主力選手が流出したが、一方で適確な補強により、就任4年目となる上野展裕監督の目指すサッカーは変わらないだろう。また岐阜の大木監督の目指すのも、攻撃的なパスサッカー。両チームとも選手が大幅に入れ替わっているため、まだ完成度は低いだろうが、両チームのパスサッカーが、この試合の注目点の一つだろう。

山口との(Jリーグでの)通算対戦成績は、1勝1敗・4得点4失点と互角。しかしホーム・長良川での4/29(金)第10節は、1-2で逆転負け。今回はリベンジを果たし、ホーム開幕戦を飾りたい。開幕戦なので両チームともスタメン予想は困難だが、山口では昨年からの中心選手である#9岸田和人と#11鳥養祐矢そして#19星雄次を注目選手に挙げておきたい。一方の岐阜では、何と言っても#10庄司悦大だろう。昨年は“山口の心臓”として10番をつけチームを牽引、今年は岐阜で10番をつけてキャプテンも務める、名実共に今季は“岐阜の心臓”としての活躍が期待される選手。古巣の山口に勝ちたい気持ちは誰よりも強いはずだ。一方の山口の選手たちも、庄司が率いる岐阜に激しい闘志を燃やしてくるだろう。また、山口には今季から岐阜県中津川市出身の#33G山田元気が京都から期限付き移籍している。彼もまた、岐阜での試合に闘志を燃やしているだろう。僕は昨シーズン終盤のホーム3連戦で、大勢のサポーターの拍手と声援が、選手たちの後押しになり勝利にも繋がることを、身をもって体験したはずだ。今年も、ホーム・長良川で勝つために、最後まで諦めず勝利を信じて走り続ける選手たちを後押しするために、多くのサポーターの拍手・声援が必要だ。そして、今シーズン最初の「万歳四唱」の歓喜を、選手たちと共に分かち合おう。

さあ、今年も長くても激しく、そして勝った負けたと一喜一憂し、ワクワクハラハラする、全42試合・J2リーグ2017年シーズンの始まりだ。(ささたく)

次回HomeGame

第03節 vs. 松本山雅

3/12(日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホムラン TEL. 058-263-5201
名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

Living in Woods
本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel: 058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけ...
心之花が咲く...
何も無い店だけ...
心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@gmail.com

【TM】岐阜 - 藤枝

●2/19(日)に、J3・藤枝MYFCとの練習試合(45分×3本)がありましたので、観戦してきました。以下、箇条書きで感想などをまとめてみます。

○1本目のスタメンは、GK:#25 ビクトル、DF:#16 福村、#5 青木、#27 ヘニキ、#15 田森、MF:#10 庄司、#28 永島、#6 シシーニョ、FW:#17 大本、#14 風間、#11 古橋…で、4-3-3の1ポランチ…0トップかしら？大幅に入れ替わった選手と、そのポジションにビックリ。

○聞いていた通り、ショートパス主体のサッカーで本当にボールが動くのが速い。ボールを貰ってから周りを見るのではなく、選手が動き回り、次々と連動してパスを繋げていく。プレーの途中ではフォーメーションが分からなくなるぐらいに選手が入れ替わる。今までの岐阜では見たことのないサッカー。

○逆に言えば、誰かがボールを収めて落ち着かせて、そこからスイッチを入れて動き出す…というサッカーではなく、それほど緩急のリズムは大きくない。また、大きなサイドチェンジも多くなかった様に感じた。

○中盤ではパスが繋がりに、全員で相手ゴール前に攻め寄せる形が何度もできていたが、そこからシュートに繋がるパスが上手く繋がらず決定機は少なかったし、その決定機でもゴールを奪えなかった。前線2人がルーキーで、そこにも課題があった様に感じた。

○2本目の最初は、#16 福村→#7パウロ以外は変わらず。パウロで攻撃が活性化され、相手守備陣を崩して2得点。その後は次々と選手を入れ替えて試していた。

○3本目は…昨年のメンバーが多かったような気がしたが、良くも悪くも、それまでとは全然違うサッカーに。長くボールを持ち、ロングパスを多用して前線で身体を張って勝負する、要は見慣れている「昨年のサッカー」に近かったように思えた。見慣れた安心感で、何となくホッとした(苦笑)けれど、まだ大木監督のサッカーに慣れていない選手が多いのだろうか。そのためか、中盤でボールを奪われショートカウンターで失点。

○大木監督の目指すサッカーが、非常に面白いものであることは確信したけれど、難しいサッカーであることも事実だろう。まだ課題も残っており、「成熟」するには、少し時間を要するかもしれない。

(ささたく)

●いよいよ新しいシーズンが始まる。つい、この間まで「まだか、まだか？」と待ちわびていたのがウソのような気分。もう、始まっちゃうのか……と。

今季もまた、大幅に陣容が入れ替わった。ただ、指揮官を早いうちに決定できたことで、要望のあった戦力の獲得が出来たのではないかな。もちろん、予算の関係もあり、ある程度は、という注釈は付くかもしれない(苦笑)。

練習やキャンプを見学された方からの情報を見聞きするにつれ、期待と不安が高まってきて、もうどうしようもないくらい。ただ、今季はPSMの情報すらなかったし、公式戦まで機会がないのかな？と諦めていたら、いったんは立ち消えになったと思われた(藤枝公式サイトスケジュール表に、いったん掲載されていたTMが途中で消えた件)が、改めて実施すると発表。そりゃあ、もういそいそと長良川へ足を運んだワケです。

とはいえ、いつものゴール裏からではなく、メインからのんびり観戦するのは例年通り。しかし、そこで目の当たりにした今季のサッカーは、今までの岐阜のサッカーとは大違い。とにかく、ショートパスをつなぐ、つなぐ。だいたい、GKからのリスタートもDF、もしくは下がってきた庄司に渡すんだから、もうビックリ。たしかに、前線は宏矢、古橋、大本という布陣なので、ビクトルからパントキックを上げてマイボールにするのはバクチになってしまう。でも、それが昨季までのウチだった。それが、ボールを大事につないで、速

攻だけではなく遅攻も交えてゴールを奪うという戦い方。非常に興味深く見入ってしまった。キックオフ直後から15分くらいまではウチのペース。枠内シュートも3本ほどあったように思う。

ただ、さすがに藤枝も慣れてきたのか、徐々に対応されて庄司が何度も最終ラインに入ってくるようになってからは、なかなかチャンスが作れず。反対に「ヤラレタ！」と観念するような決定的場面もあって、一本目(この日のTMは45分×3本で実施)は0-0で終了。二本目では交代で出場してきたパウロが2得点。昨季末からの流れをキープ出来ているようなのは嬉しい限り。試合結果は2-1で勝利だったが、開幕スタメン候補と目されるメンバーが出場した一本目から二本目は2-0。それなりの内容と結果だったと言えるんじゃないかな。

ただ、来週開幕のウチに対し、J3の藤枝の開幕は二週間後。仕上がり具合を考えると物足りない。その意味では、三本目に出てきた選手には、さらに残念に思うところもあった。もちろん、三本目に出てくるということはコンディションの調整中といった選手もいるハズ。新加入の9番アレックス(クリスチャン)はまさにそれか。身長がある割にはトップではなくサイド、もしくはシャドーの位置にいたり、CKのキッカーを務めたりしたのは驚いたが、一本だけ放った左足のシュートはパンチ力があって楽しみが増えた感じ。スタメンで出場したシシーニョにも期待が出来そうだし、あとは最終ラインのヘニキと翼のコンビが機能するかどうか。藤枝よりも数段上(のハズ)のJ2勢に対応できるか。いや、してくれないと困るんだけど。両サイドが田森と福村なのできっちり連携できるんじゃないかとは思っている。それと、この試合は出場しなかった磐瀬の早期復帰を切に願う。そうならば、少なくとも昨季の序b……、いや、余計なことは書かないでおこう。

とりあえず、今季の目標(超私的な希望)は余裕を持って終盤を迎えたい、ということ。まずは基礎固めをしつつ、それでも最低限の結果を残せるようにしてもらえないでしょうか？ぜひとも、よろしく願います。

今季はスカパー！からDAZNに変わってしまったので、自分的には昨季以上に現地に行きたいと思ってます。これまで以上にアツク応援していきます。共にごがんばりましょう！！(ぐん)

●例年開催されていたプレシーズンマッチのお知らせが今年は無いな〜と少し寂しい思いをしていたら藤枝MYFCさんとのトレーニングマッチ開催が発表されました。当日はキックオフの直前にメモリアルに到着。コモリさんの牛串を購入して普段は持ち込めない缶ビール片手にメインスタンドで観戦しました(笑)。

試合は45分マッチを3本やりましたが、最初の2本が現在のスタメン候補だったんですかね。従来の岐阜に無かった連携を意識したプレーを見てビックリ！(苦笑)まだまだ未完成な部分がありそうですが、今後これをブラッシュアップして行けば楽しみなシーズンになること間違いなし！とてもハッピーな気分になりました！！ただ選手をかなり入れ替えた3本目ではハッピー感は見事に粉碎(泣)。長いシーズンを戦い抜くには全体のレベルアップも必須なんで、是非頑張ってください。

なんにせよ今年も試合結果に一喜一憂するシーズンが始まります。去年よりも沢山の喜びを感じる事が出来ると良いですね。FORZA！FC岐阜！！

(ヤックル)